


H29年度 広島県立祇園北高等学校 学校経営概念図

育てたい生徒像		広い視野と高い志を持ち、継続して実践力を発揮し、アイデンティティを成長させていく生徒	
育成する能力	認知的な能力に加えて、非認知能力（◇自律性 ◇協働性 ◇リーダーシップ ◇粘り強さ ◇レジリエンスなど）を育成する		
領域	事項	具体的な内容	
校務運営	ダブルループの推進	■ 作業仮説の設定とエビデンスに基づく評価	■ 質問会議と業務改善（コストパフォーマンス改善）
学びの革新	活用コアスクール	■ ICEモデルを軸とした授業実践	■ 問いの構造化による深い学びの推進
キャリア教育	主体性・自律性の強化	■ e-ポートフォリオの導入と活用（ベネッセとの共同研究）	■ 高大接続の推進・非定型課題への対応
グローバル化	カリキュラムデザイン	■ エンパワーメント・プログラムの導入	■ 持続的なネットワークの構築・活用
理数コースの探究化	探究活動の推進	■ 科学研究実践活動推進プログラム等の実施	■ 理数コンピテンシー育成プログラムの開発・実施



文武両道

Active
100

○教育機会 — 高大連携の推進と開かれたカリキュラムの実施（大学、企業、PTA、地域との連携・交流）

○教育内容 — 定型課題と非定型課題(E領域)への調和のとれたアプローチ

○教育方法 — 主体的・対話的で深い学び、探究や発見のある学びの積極的導入

◆授業 ⇒ 学習者基点の学びの創造 : 本質的な問いをコアとした問いの構造化, 豊かな Ideas の学び, スパイラルな学び (リフレクション重視)

◆学校行事 ⇒ 生徒主体の展開 : リーダー育成プログラムの実施と体験や交流機会の拡張

◆部活動 ⇒ やり抜く力の育成 : 競技力向上に向けた GRIT(やり抜く力)の積極的育成と実践

育成する思考力	1年	2年	3年
論理的思考	→		
批判的思考	→		
創造的思考	→		

[1] 具体的な取組


- ★コンテンツ・スタンダード と パフォーマンス・スタンダードの連関
- ★本質的な問いの創出と E 領域問題の評価への定位
- ★非定型問題の研究と授業への反映（高大接続への対応）
- ★スキーマの導入＜観察・比較・洞察・類推・仮説・検証計画・評価＞

育成する非認知能力	自律性	協働性	リーダーシップ	GRIT	レジリエンス
e-ポートフォリオ	◎			◎	○
エンパワーメント・プログラム		○	◎		◎
探究活動等		◎		◎	○

[2] 実施体制

- 校務運営会議 — 学びの革新 : ループリック検討会議；教科主任会議
- 業務改善等 : 学校活性化委員会
- 生徒支援 : 教育相談委員会, 特別支援コーディネーター
- 評価・改善 : 学校関係者評価委員会, 学校評議員会

学校概要



創立 35 年目
全日制普通科
学年 8 クラス
(1 クラス理数コース)
活用コアスクール

海外姉妹校
D.W ポビー校
(カナダ)